

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 婦人科がん術後患者のリンパ 浮腫予防—セルフケア促進に 向けたパンフレット(試案)作 成と患者指導のあり方—	共著	2013年5月 (査読有)	日本がん看護学会 誌第27巻1号 67 頁-72頁	(著書全体の概要) リンパ浮腫において予防的に関わることを目指して、日常生活に即したパンフレットを作成した。作成にあたっては、患者に学んでほしい内容を抽出、精選、順序性を考えていった。結果、「リンパ浮腫について(知識)」「セルフリンパドレナージ(技術)」「日常生活における予防法(態度)」とし、パンフレットは患者に実践しながら追加・修正を行った。 (総ページ数)6頁 (共著者:梶原真由美、飯野矢住代) (担当分:共同研究につき抽出不可能)
2 (学術論文) 入院患者の病状急変時にお ける看護師の役割-教育プロ グラムの実施と評価-	共著	2013年8月 (査読有)	看護実践の科学 38巻9号 72-80頁	(著書全体の概要) 入院患者の病状急変時における看護師の役割について教育プログラムを作成し(7カテゴリー)、実施・評価した。模擬病室(SP)で、看護師6名(経験2~6年)で急変時の看護実践(1回目)→教育プログラムの講義→急変時の看護実践(2回目)を行った。講義前は急変した患者の身体の観察および処置の介助に偏りがちであったが、講義後は患者の衣服を整え、患者のみならず家族の気持ちにも配慮するなどの行動がとられていた。 (総ページ数)9頁 (共著者:藤田佳子、奥菌邦子、加悦美恵、飯野矢住代、梶原真由美) (分担分:共同研究につき抽出不可能)
3 (報告・発表) 婦人科がん術後患者のリンパ 浮腫予防—セルフケア促進に 向けたパンフレット(試案)作 成と患者指導のあり方—その 2	共著	2014年2月 (査読有)	第28回日本がん看護学会学術集会講演集 319頁	(著書全体の概要) 婦人科がん術後患者のリンパ浮腫予防のため作成したパンフレットを用いて患者指導した結果、患者のセルフケアを促進するためには、日常生活を組み込んだパンフレットの作成および看護師が患者の思いの中に身をおき、患者の言葉や行動の意味を考えながら関わること、賞賛しながら指導することが、患者が予防行動を継続することと関連していたことがわかった。 (総ページ数)1頁 (共著者:梶原真由美、濱田知子、梅野里美、飯野矢住代) (担当分:共同研究につき抽出不可能)
4 (報告・発表) 看護系大学教員に必要な能力 開発にむけたプログラム構 築と検証 —看護教員の能力に関する 文献検討—	単著	2018年8月 (査読有)	第8回国際医療福祉大学学会学術大会講演集 60頁	(著書全体の概要) 看護系大学が増加している現在、看護教員の質と能力向上を図るために、看護系大学教員に必要な能力開発にむけたプログラムを構築し、実行および検証を行うことを目的とする。第一段階として、今回は、看護教員に必要な能力について検討した結果を報告した。 (総ページ数)1頁 (単著:飯野矢住代)